

# おすすめ街あるきコース

※コース標題色は、地図上の街あるきコース色と同一です。 ※ご案内は全コース霞城セントラルから始まります。 ※所要時間に観賞時間は含まれておりません。



**霞城セントラル**  
山形の新都心ビル  
24階建高さ115m。  
美しい自然と調和した街並みや山形城址  
等が展望出来る。

## コース①

### 時代をかたどる レトロ館あるき

- 距離 / 約6.3km
- 所要時間 / 徒歩約2時間

山形の町は先の大戦で被災しなかったこともあり、明治、大正以後の建物が多く残っています。国指定の重要文化財、登録文化財等を中心に巡ります。

#### 霞城セントラル

↓  
950m

##### ① 山形城址 (霞城公園)

山形市郷土館・本丸・二の丸・東大手門  
史跡山形城址で二の丸東大手門を復原。本丸を復原中。最上義光公騎馬像や山形城の始祖・斯波兼頼公のレリーフなどがある。

↓  
1,350m

##### ② 文翔館 (県郷土館)

旧県庁舎及び県会議事堂として大正5年に建設されたルネサンス様式の建物で、昭和50年まで県庁舎、国の重要文化財。

↓  
600m

##### ③ 教育資料館 (旧師範学校)

明治34年建築の旧師範学校校舎。ラウンドアーチ型の飾り窓等ルネサンス様式。教育関係資料を展示。国の重要文化財。

↓  
1,100m

##### ④ 水の町屋

約400年の歴史を持つ山形五堰の一つ、御殿堰の流れが敷地内にある。座敷蔵を有し石積水路のある親水空間町屋である。

↓  
500m

##### ⑤ 山形まなび館 (旧第一小学校)



県下初の鉄筋コンクリート造りの学校。人造石の階段、アール・デコ半円アーチの建築様式。山形城址発掘による出土遺物の展示等。

↓  
800m

##### ⑥ 紅の蔵 (山形まるごと館)



秋元氏時代の御用商人◎長谷川家の蔵。紅花商人として繁栄し現存している店蔵。座敷蔵、荷蔵を活用した観光施設、カフェ、郷土料理、農産物直売等。

↓  
1,000m

#### 霞城セントラル

## コース②

### ふれ愛 城下まちめぐり

- 距離 / 約3.8km
- 所要時間 / 徒歩約1時間30分

山形城の遺構(丁字路、筋違い、枳形等)は、街中の処々に残っています。城、土塁跡、堰、旧商人町・職人町など、江戸期の風情が楽しめます。

#### 霞城セントラル

↓  
500m

##### ① 三の丸土塁跡

三の丸の東南方十日町口の南接場所にある。三の丸は、東西1,580m、南北2,090m、周囲約6.5km、71万坪を有す。

↓  
100m

##### ② 歌懸稲荷神社

斯波兼頼公が山形城の守り神として城内に建立したと言われ、城主や城下の人々が短冊に歌を書いて神に奉納する風習から名称が付けられた。

↓  
1,100m

##### ③ もみじ公園



旧宝幢寺跡で山形城本丸庭園の余石と吉野の紅葉を用いた池泉回遊式庭園をもち、紅葉の名所として親しまれており本格的な茶室宝紅庵を併設している。

↓  
700m

##### ④ 光明寺

斯波兼頼公の開山で当初は城内にあった。義光公は、1,760石を寄進。時宗の古刹で50ヶ寺を支配。鳥居忠政公時代、現在地に移る。斯波兼頼公菩提寺。

↓  
600m

##### ⑤ 専称寺

旧寺町にある市内最大の浄土真宗寺院。最上義光公が二女駒姫の菩提を弔う為に建立。本堂木造建築で東北一。本堂屋根四隅の力士像は左義五郎作か。

↓  
600m

##### ⑥ 長源寺

城主鳥居忠政公が伏見城で戦死した父・元忠の菩提を弔うため建立。戊辰の役に活躍した水野三郎右衛門元宣の墓などがある。

↓  
200m

##### ⑦ 水の町屋

約400年の歴史を持つ山形五堰の一つ、御殿堰の流れが敷地内にある。座敷蔵を有し石積水路のある親水空間町屋である。

● ペニちゃんバス利用 (七日町停留所)

↓  
1,700m

#### 霞城セントラル

## コース③

### 山形城の 面影めぐり

- 距離 / 約3.5km
- 所要時間 / 徒歩約1時間15分

山形城は、馬見ヶ崎川扇状地の裾野に築城されており、城下町より低い位置にあるという特徴があります。代々の城主と縁の深い場所、施設を巡ります。

#### 霞城セントラル

↓  
950m

##### ① 山形城址 (霞城公園)



山形市郷土館・本丸・二の丸・東大手門  
史跡山形城址で二の丸東大手門を復原。本丸を復原中。最上義光公騎馬像や山形城の始祖・斯波兼頼公のレリーフなどがある。

↓  
200m

##### ② 公園スクエア

山形美術館や最上義光歴史館、多数のモニュメントがある。斯波兼頼公の菩提寺跡(光明寺)や文和4年(1355)の山形最古の阿弥陀板碑がある。

↓  
150m

##### ③ 最上義光歴史館

城下町の基礎を築いた57万石最上義光公の遺品や関連文書等を展示。兜や合戦図屏風等を展示している。

↓  
300m

##### ④ 豊烈神社

最後の山形城主水野家を祀り藩祖忠元、中祖忠邦、明治維新で殉職した元宣等を祭神とする。10月6日に奉納される古式打碁は、宮内庁、八戸市の打碁とともに貴重な文化財である。

↓  
1,300m

##### ⑤ 歌懸稲荷神社

斯波兼頼公が山形城の守り神として城内に建立したと言われ、城主や城下の人々が短冊に歌を書いて神に奉納する風習から名称が付けられた。

↓  
100m

##### ⑥ 三の丸土塁跡



三の丸の東南方十日町口の南接場所にある。三の丸は、東西1,580m、南北2,090m、周囲約6.5km、71万坪を有す。

↓  
500m

#### 霞城セントラル

## コース④

### 最上家ゆかりの 寺社めぐり

- 距離 / 約3.1km
- 所要時間 / 徒歩約1時間10分

最上家は13代(266年間)出羽山形の地に関わり、特に義光公は今に至る山形発展の礎を築きました。最上家由縁の寺社が多く残っています。

#### 霞城セントラル

↓  
600m

##### ① 三の丸吹張口

山形城三の丸吹張口は、十一口の南端の門、二の丸南進手門からの道。土塁と塚跡が約60mの長さに渡り残っており、市の史跡標柱がある。

↓  
250m

##### ② 宝光院



最上義光公が現在地に移設。鳥居忠政が山形城改築の際、書院杉板戸、欄間を移築。めずらしい両足そろいの仏定石あり。

↓  
280m

##### ③ 六榎八幡宮

山形・町南部の総鎮守、奈良時代大野東人の創建か。源頼義・義家が戦勝祈願、斯波兼頼公が社殿再建、義光が社殿を修葺。現在の本殿は城主鳥居忠恒が造営した。

↓  
400m

##### ④ 光禅寺



最上義光公が創建。義光・家親・義俊の三代の墓と殉死者の墓もある。庭園は、遠州流林泉庭園として有名。堰堀が傍らを流れている。

↓  
400m

##### ⑤ 常念寺



不動明王院を慶長4年最上義光公が義光山常念寺と改称。最上義光公の長男義康の菩提寺。豪商の墓が多い。

↓  
1,150m

#### 霞城セントラル